



やまがた 伝説 DENSETSU

にほんいちせいさんりょうほこ
日本一の生産量を誇る
てんどうししょうぎごまはじ
天童市の将棋駒。その始まりや
つくかたちがし
作り方の違いを知ってる？



今ブームの将棋駒のほとんどが天童で作られているんです！

将棋駒は、木と漆と文字による小さな芸術です。材料となる木は「ツゲ」などが使われ、作り方は「彫り駒」、「盛り上げ駒」など5種類、書体は数多くあります。駒づくりの工程は分業され、木地師、書き師、彫り師、盛り上げ師が協力して作り、伝統を支えているのです。



駒と一言で言ってもたくさん種類があるんだって！

ふじいそうたしちだんかつやくえいががつこうかい
藤井聡太七段の活躍や映画「3月のライオン」の公開など、大人はもちろん、子どもたちにも大人気の将棋。国内で生産される将棋駒のほとんどは、天童市で作られています。幕末の頃、天童藩家老の吉田大八が藩士に手内職として奨励したのがきっかけで駒づくりが始まりました。

天童市では、甲冑や着物姿の武者や腰元たちが将棋の駒となり、戦国絵巻を繰り広げる「人間将棋」やタイトル戦などの大きなイベントが開催されます。また、歩道に詰め将棋が19か所も設置されるなど、「将棋のまち」として多くの観光客が訪れ、その歴史文化に触れています。

天童は全国に知られる「将棋のまち」なんだね！



将棋の発祥や日本への伝来などをわかりやすく展示しています。

将棋駒についてお話をお聞きした
もりや ゆきこ
森谷 有紀子さん
てんどうししょうぎしりょうかん
天童市将棋資料館

天童市将棋資料館は将棋や駒について知ることができる全国でも数少ない施設で、遠くからも将棋ファンが訪れます。ぜひ見学して将棋に親んでください。

